

おしえて

ドクター

No.61 怖い!! 心筋梗塞
できるだけ早く受診を

日本では年間約3万5千人が心筋梗塞で亡くなっています。心筋梗塞は心臓に酸素と栄養を送る血管(冠動脈)が動脈硬化によって詰まることで、心臓の筋肉(心筋)が壊死する病気で、心筋梗塞を発症すると30%の人は病院を受診する前に亡くなってしまいます。しかし、病院を受診できた患者さんは緊急の治療により90%以上の人が助かります。

では、心筋梗塞で命を落とさないためにはどうすればよいのでしょうか? 心筋梗塞の原因は動脈硬化であり、動脈硬化を進める要因は生活習慣病(高血圧、高コレステロール血症、糖尿病)やタバコです。塩分や脂肪、間食を減らし、ウォーキングなどの運動を心がけましょう。喫煙者は非喫煙者よりも心筋梗塞で亡くなる割合が4.5倍にもなり、禁煙も重要です。

心筋梗塞になってしまった場合はどうすればよいでしょうか? 心筋

羽場 一直 医師



循環器内科部長

梗塞の治療は足の付け根や手首の血管から、直径2mmほどの細い管を心臓まで挿入し、その中にカテーテルを通して、血管の詰まっている部分をバルーンで押し広げ、ステントと呼ばれる金属の筒を留置します。この治療も心筋が壊死してしまっただけでは意味がありませんので、できるだけ早くに血管を再開通させる必要があります。再開通までの時間が短ければ助けられる心筋も多くなります。そのためには、患者さんにはできるだけ早く病院に来ていただく必要があります。

私たちは24時間365日、心筋梗塞に対して緊急治療ができる体制を整えていますので、15分以上続く経験したことのない胸の痛みがあれば、迷わずに救急車を呼んでください。

総合医療センター
22-1211 FAX 22-9498
お問い合わせは

すこやか情報局

お問い合わせ・申し込みは
保健医療課 ☎24-1182 FAX 24-3032

こころの健康づくり講演会開催

こころの健康づくり、自殺予防のための行動や対応方法などについて、この機会に学んでみませんか。

とき 3月8日(月) 午後2時~3時30分
場所 くわなメディアライヴ 2階
対象 市内在住または通勤の人
テーマ 「あなたもゲートキーパーに! ~きづいてよりそういうけとめてつなげる~」
講師 愛知医科大学病院 こころのケアセンター 技師長・臨床心理士 古井 由美子さん
定員 30人程度
申込 直接または、電話、ファクスで保健医療課へ。
▷状況により中止となる場合があります。
期限 2月26日(金)

令和3年度バス検診申込受付時期の変更

毎年、広報くわな2月号でバス検診申込受付の記事を掲載していましたが、令和3年度実施分については3月号に掲載します。

【申込受付期間】
3月上旬~4月中旬

【バス検診の内容】
バス検診とは、市内の施設で検診車を用いて行う検診です。
▷結核検診は8月~10月実施予定
▷がん検診は12月~令和4年2月実施予定
▷がん検診の種類は胃・肺・子宮・乳(超音波・マンモグラフィ)・大腸です。

問 保健医療課 (☎24-1182 FAX 24-3032) へ。



がん検診のバス検診車

一人で抱えないで
~悩みごとや気持ちを聴いてくれる市の相談窓口~
大人の健康相談やこころの健康に関する相談などは、気軽に保健医療課へご連絡ください。
問 保健医療課 (☎24-1182 FAX 24-3032) へ。

= 献血にご協力ください =
とき 2月10日(水) 午前9時30分~11時30分
場所 市役所
▷献血にご協力いただける人には要件があります。
詳細は保健医療課 (☎24-1195) へ。

ひとり親世帯臨時給付金の申請はお済みですか

新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親世帯の子育て負担の増加や収入の減少に対する支援を行うため、臨時特別給付金を支給しています。

申請のお済みでない人は、2月26日(金)までに子ども未来課で手続きしてください。

この給付金は令和2年6月から申請が始まっており、12月に再支給することが決まりました。一度申請している人には再支給分は支給済ですが、まだ一度も申請をしていない人は再支給分も併せて申請することが可能です。

対象者① 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変するなど、収入が児童扶養手当を受給している人と同じ水準となっている人

支給額 1世帯5万円(第2子以降1人につき3万円)

対象者② 公的年金などを受給しており、収入が児童扶養手当を受給している人と同じ水準となっているが、これまで児童扶養手当の申請をしていない人

支給額 1世帯5万円(第2子以降1人につき3万円)と、追加給付で新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、収入が減少した人は5万円

問 「ひとり親世帯臨時特別給付金」コールセンター (☎0120-400-903 受付時間:月~金 午前9時~午後6時) 子ども未来課 (☎24-1172 FAX 24-1393)

2月26日(金)まで

育児相談

保健師に乳幼児の発達や育児などについて相談したり、管理栄養士に栄養に関する相談ができます。

とき 3月19日(金) 午前10時~11時(要予約)
場所 くわなメディアライヴ
定員 18人(先着順)
持物 母子健康手帳、バスタオル
申込期間 2月15日(月)~3月12日(金)
▷感染症拡大防止のため、少人数で越してください。
▷当日の朝に体温を測り、マスク着用の上参加してください。発熱や風邪症状などがある人はご遠慮ください。

すくすく離乳食教室

子どもの成長時期に応じた離乳食・子育てに関する講話を行います。

とき <<初期・中期>>3月2日(火) 午後1時30分~3時
場所 くわなメディアライヴ **料金** 無料
定員 20人(先着順)
申込期間 2月15日(月)~26日(金)

問 子育て支援課 ☎24-1380 FAX24-5497

土日祝日(昼間・夜間)に病気になったら

救急医療

夜間・休日に急病になった時は、診療可能な病院を24時間体制で案内します。案内を受けた後、医療機関に問い合わせからお出かけください。

パソコンによるご案内(医療ネットみえ)
▶ <http://www.qq.pref.mie.lg.jp/>
携帯電話によるご案内
▶ <http://www.qq.pref.mie.lg.jp/k/>
音声によるご案内(無料)
☎0800-100-1199
救急医療情報センター
☎059-229-1199

くわな健康・医療相談ダイヤル24
☎0120-149-107

土曜夜間・休日は応急診療所
電話は診療時間内をお願いします。
〔診療科目〕内科、小児科

日曜・祝日 午前9時30分~正午
午後1時~4時
土曜夜間 午後7時30分~9時30分

応急診療所(ふれあいプラザ内)
☎21-9916

※新型コロナウイルス感染対策のため、インフルエンザの迅速検査は行いません。

小児科については、担当医の専門性により対応年齢が異なります。事前に電話で確認してください。

日曜・祝日の午後5時~10時は、当番医療機関へ事前に医療機関へ電話してください。

7日(日)	青木内科	☎22-1111
11日(祝)	桑名病院	☎22-0460
14日(日)	青木内科	☎22-1111
21日(日)	桑名病院	☎22-0460
23日(祝)	青木内科	☎22-1111
28日(日)	桑名病院	☎22-0460